

国連工業開発機関（UNIDO）との共同宣言を締結することで、国際機関のネットワーク・リソースを活用したフードテックをはじめとする日本企業の革新的な技術・製品・サービスの海外展開を支援する協カプロジェクトの具体化を図る。

## 農水省・UNIDO共同宣言の概要

1. 革新的な技術・アプローチを通じ、**生産段階から加工・流通段階**までの生産的で強じんかつ持続可能な**農業・食料のバリューチェーン強化**等を図るため、**両組織で協カを実施**。
2. 協カ分野における取組を進めるため、以下を実施。
  - ① 農水省・UNIDO間の**定期的な戦略対話**の開催
  - ② **イベント・ワークショップ**等の開催における協カ
  - ③ **共同プロジェクト**の実施
  - ④ **人材交流**

## 協カ分野

- a. 生産的で強じんかつ持続可能な農業・食料システムのための制度改革及び能力開発
- b. 灌漑施設及び付属施設を含む気候変動に配慮した農業投入材及びインフラ
- c. 付加価値の高い加工・包装産業の発展
- d. 食品サプライチェーン全体における食品ロス及び廃棄物の削減
- e. 食品の品質、安全性、栄養及び健康的な食事
- f. 農業及び食品物流の開発及びサプライチェーン管理
- g. 生産的で強じんかつ持続可能な農業・食料システムへの民間部門の関与及び投資の増加
- h. 持続可能な漁業管理と養殖
- i. 持続可能な森林経営と森林に基づくバリューチェーン
- j. バイオマスとバイオベースの資源の持続可能な利用を通じたバイオエコノミーの促進
- k. 気候レジリエンスと生態系回復のための自然由来の解決策
- l. 持続可能な農工業団地と関連インフラ開発